

家庭学習+1（プラスワン）の手引き

1. 日永小学校が考える家庭学習について

日永小学校では、家庭学習+1（プラスワン）の取り組みを継続して行っています。ほとんどの子どもたちには取り組みが定着してきていますが、さらに有意義な取り組みとなるために、+1（プラスワン）の行い方や意義を確認したいと思います。

小学校の学習は、将来子どもたちが社会人として自立するための基礎となる大切なものです。学校では、様々な取り組みを通して基礎学力の向上を図っていますが、家庭との連携を進め、かつ保護者が子どもとかかわることで、その効果が何倍にも高められると考えます。学校で学習したことを定着させるために、また、自ら学ぶ力をつけさせるために、家庭学習の習慣が子どもに身に付くようご協力ください。

2. 家庭学習の意義について

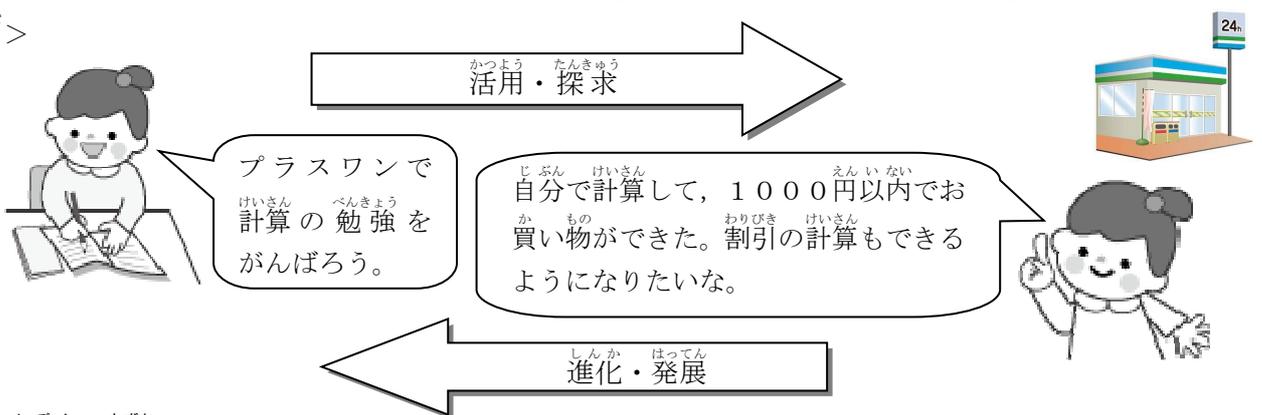
① 継続は力なり

学校で学習したことを復習することは家庭学習の基本です。特に読み・書き・計算は、毎日繰り返し練習することで定着していきます。そして、何より子どもの自信につながります。

② 生きた学び

日常生活でのことを学習と結びつけることが大切です。さらに、学習したことを日常生活の中で活用したり、探求したりすると単なる知識ではなく、生きた学びに発展させることができます。

<例>



③ 家族の絆

家庭学習をしている子どもに、親が関わることは親子のコミュニケーションを深めることにつながります。子どもが課題に向き合っているときに励ましたり、達成したときに誉めたりすることで、子どもの意欲向上につながります。さらに、改善点を親子で見つけることにより、新たな課題設定をすることができます。小さな達成感を積み重ねることで、学習の楽しさも増すことができます。

3. 保護者と教師のそれぞれの役割について

保護者の役割

子どもが学習に集中できる環境づくりをお願いします。

- ・子どもが学習をしている間は、テレビなどを消してください。
- ・机を整頓させてください。
- ・下敷きを使い、削ってある鉛筆で書かせてください。
- ・規則正しい生活リズムを整えさせてください。

子どもたちの意欲向上につながる支援をお願いします。

- ・学習内容を見ていただき、丸付けができる内容には、必ず丸付けをしてください。
- ・直しがあるときは、必ず最後まで直しをさせてください。
- ・最後にサインや励ましのコメントをできるときに書いてください。

教師の役割

子どもの意欲を認め、支援していきます。

- ・原則、ノートには目付の記入かハンコを押して返します。
- ・それぞれの子どもたちの良い面を帰りの会などの全体の場で認め励まします。

☆ すでに各学年に応じて+1(プラスワン)に取り組んでいます。1年生は3学期から始める予定です。

プラスワンのやりかた

名前 _____

- ① メニュー表を見ながら、ノートのページの初めに日にちとめあてを書きます。
- ② 1ページ分のプラスワンをやります。
算数、理科、社会は横書きでやります。
国語はノートを横長にしてたて書きでやります。
- ③ 終わったら○つけ(答え合わせ)をします。
(お家の人に○をつけてもらってもいいです。)
- ④ ページの終わりにふりかえりを書きます。
- ⑤ お家の人に 見てもらい、ノートにサイン(コメント)をもらいます。

このカードは、連絡袋に入れておき、やりかたがわからなくなった時に、いつでも見られるようにしましょう。

ノートの使い方の例

○算数

日にちとめあてを書きます。

口づけと直しをしましょう。

ふりがえりを書きます。

○国語

ここがたて書き
かん字は4マスで一文字

おうちの人にコメントを書いてもらってもいいですね

* 1~3年生は「めあて」「ふりかえり」を書きません。